

こども版

さっぽろ

ヒグマ

基本計画

ヒトもヒグマも安心して暮らせるまち、
さっぽろを目指して。



○ 未来を想う
Think Green
環境部 札幌

さっぽろ

ヒグマ^き基本^{ほん}計画^{けい}って？^{かく}



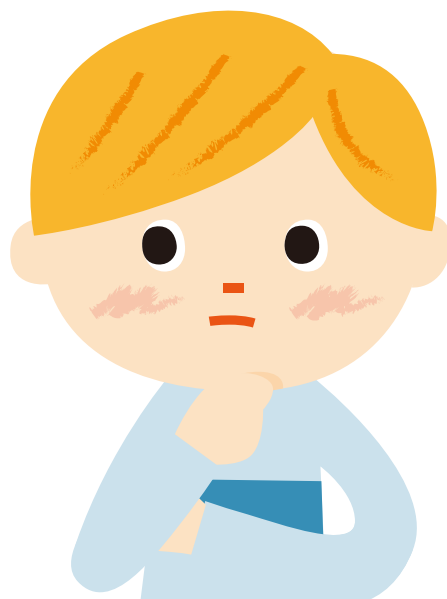
みなさん、ヒグマを知っていますか？

ヒグマは、本州に住むツキノワグマや中国のパンダと同じクマの仲間。日本では、北海道にだけ住んでいるクマです。札幌の周りがある、みなさんの家や学校から見える山の中にも住んでいます。

札幌周辺のヒグマは、かつて春グマ駆除などで数が減り、これ以上減るといなくなってしまう心配があるため、みんなで大切に守っていきこうと決めている動物です。近ごろはヒグマの数が少しずつ増えてきましたが、その一方で、ヒグマが畑の野菜などを食べてしまったり、街の近くに出てきてしまったりと、いろいろな問題も起きています。

そこで、札幌市では、平成29年3月に「さっぽろヒグマ基本計画」という計画をたてました。これは、人とヒグマがお互いに安心して生きていくための方法を考えてまとめたものです。

わたしたちに何ができるでしょうか？みなさんも自然と仲良く暮らすことを考えてみてください。



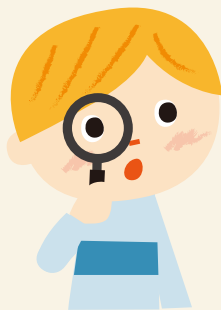
ヒグマってどんな動物？

日本に住む地上の野生動物の中では一番大きな動物です。

学習能力が高く、
頭がとてもいい

鼻と耳が
とってもいい

おいしい食べ物の
味を覚えたら、
しつこく探し回る



◎何を食べるの？

雑食性と言って何でも食べます。大きな体のために、たくさんの食べ物が必要です。フキノトウなどの植物やドングリ・クルミなどの木の実、アリやハチなどの昆虫も食べます。



◎行動範囲

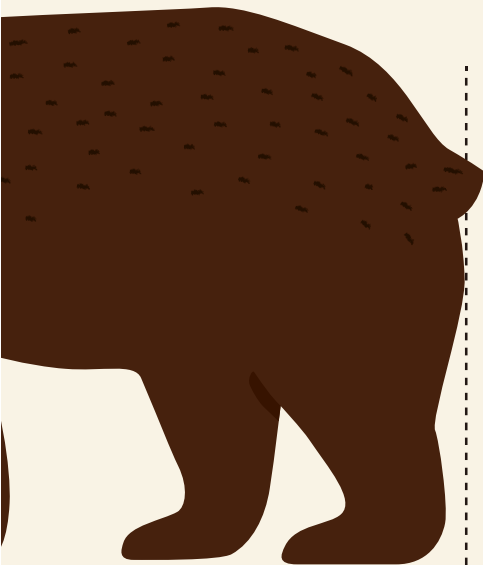
オスは数百kmという広い範囲で動きます。メスは数十km内で1年中暮らします。

日中も夜も
行動する

背中を向けて
逃げる動物を
追いかける

走る速さは
時速50km位

食べたものが
ほとんどそのまま
フンに出てくる



体長：鼻先からお尻までの長さ

オス：体長約2メートル
体重約150~400kg

メス：体長約1.5メートル
体重約100~200kg

◎ 自然の豊かさをあらわす シンボル

森の草や木の実、海から川に上ってきたサケ
などを食べて、植物の種や海の栄養をフン
に入れて、森のあちこちに運ぶことで、豊かな
森を育てる手助けをしています。

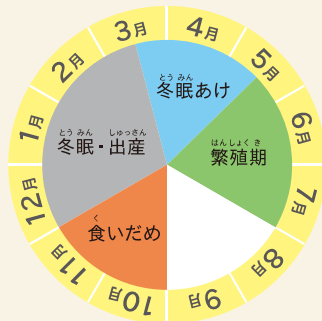
◎ 1年のサイクル

3月~5月に冬眠から目覚めます。

5月~7月はメスを求めてオスの行動が活発になります。

10月~11月は冬眠のためにたくさん食べる時期です。

12月~3月まで冬眠しますが、メスはこの間に赤ちゃん
を産みます。



ヒグマは怖い動物なの？

実は、ヒグマは人にに対してとても怖がりな動物で、人を襲うことはとても少ないのです。

ほとんどのヒグマは人を避けています。



人がヒグマを怖がるように、ヒグマも人が怖いんです。だから、普段は人目につかないよう山の中に入りますし、動く時もやぶなどの中に隠れて動きます。ヒグマにとって人は危険なもので、できるだけ会わないようにしているのです。

私たちがルールを守らないと、人を避けなくなります。

ヒグマが、畑の野菜やくだもの、山の中に残された人の食べ物のごみなどを食べておいしいと思ったとき、ヒグマはそのおいしかった食べ物の味がわすれられなくなって、畑の作物やごみを探して、街の近くまで出てきてしまうことがあります。特に食べ物のごみの味を覚えてしまったヒグマは、人がいても気にしなくなって、ごみステーションのごみを食べに、くり返し街に出てくるようになります。人目を気にせず畑を荒らしたり、人の住む街に出てくるようになったヒグマは、駆除という悲しい結果になってしまいます。そうならないために、人の食べ物のおぼえさせないことが、私たちが守るべきルールになります。



こんな時には、人を襲うことが・・・



びっくりして、人を襲う
ことがあります。

山菜採りやキノコ採りなどで山の中
に入った時、人とヒグマがお互いに
気付かず、ばったり出会ってしまう
と、ヒグマが驚いて人を襲うことがあ
ります。

逃げるものを追いかける
習性があります。

ヒグマは逃げるものを追いかける
習性があり、人に追いついた勢いで襲
うことがあります。ヒグマに背中
中を向けて走って逃げたはけません。



母グマは子グマを
守ろうとします。

人も同じですが、母親は子どもを守
ろうとします。子グマが危ない目にあ
うと感じると、母グマは人を襲うことが
あります。

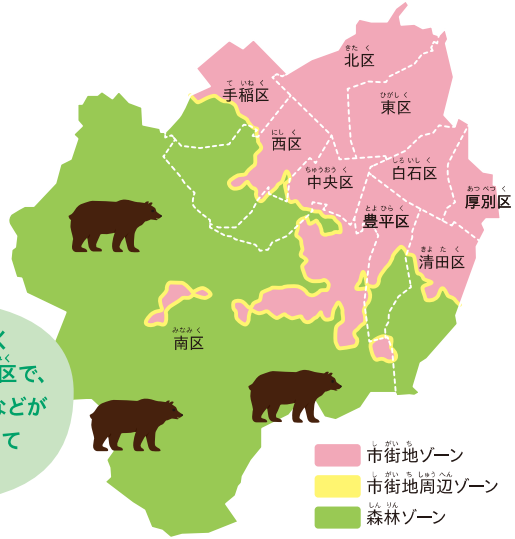


さっぽろに住んでいるヒグマ

約195万人もの方が住む大都会のすぐそばにヒグマやたくさんの動物たちが住む豊かな森があるのは、とっても素晴らしいことなんです。

だけど、ヒグマが畑を荒らしてしまったり、街の近くまで出てきてしまったりと、いろいろな問題が起きています。

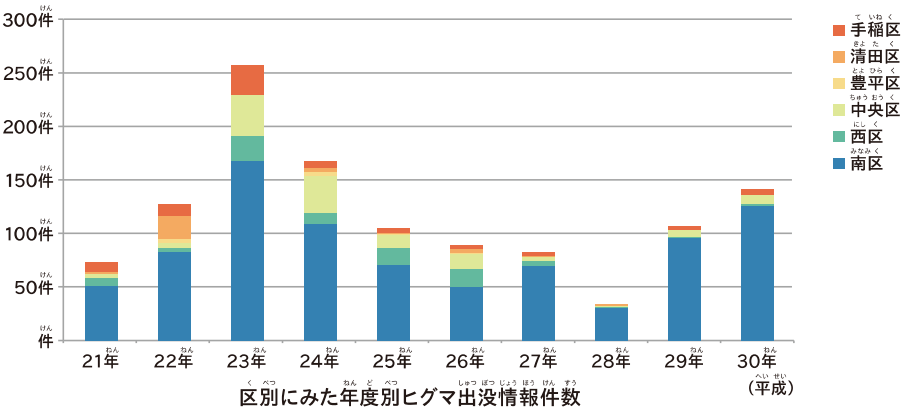
山や森林に接した6つの区(中央区・豊平区・清田区・南区・西区・手稲区)でヒグマの出没情報があります。



特に、とても広く大きな森林のある南区で、ヒグマの姿や足跡などがたくさん見つかっています。

ヒグマはどれくらい出てきている？

出没情報の数は、札幌に住んでいるヒグマの数ではありません。出没情報の多い年には、同じヒグマがくり返し見られることが多くなっています。



ヒグマの出没情報とは

●姿を見た



●足跡を見つけた



●フンを見つけた



●食べ跡を見つけた



●掘り跡を見つけた



●畑を荒らされた



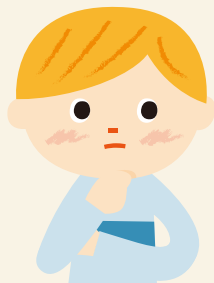
などです。

人もヒグマも安心して暮らしていくために。

ヒグマは山、人は街と、暮らす場所がちがうので、出会うことがなければそれぞれ安心して暮らしているのです。

しかし、私たちは山へキャンプや登山、山菜採りやキノコ採りに出かけます。ヒグマの住みかに近づいているのです。逆に、ヒグマも様々な理由で人に近いところまでやってくる場合があります。

それでも、できるだけヒグマが街に来ないように、人とヒグマが出会わないように工夫することはできます。



どうすれば、
わたしたちは安心して
暮らせるかなあ？



ゾーニングで対処する

人とヒグマが会わないために、ゾーニングという考え方があります。
ゾーニングとは「場所を分ける」ということです。
その場所ごとに、どうヒグマとのことを考えるかが大事になります。

●市街地ゾーン

人がたくさん住んでいて、
ヒグマが出てきたら困る場所。

札幌市には、
森林ゾーンと市街地ゾーンが
直接つながっている地域が
たくさんあります。



みなさんの住んでいる場所は、

どのゾーンでしょうか？

遊びに行く場所は

どのゾーンになるでしょうか？

● 森林ゾーン

ヒグマの住む場所。
人は住んでいない。

● 市街地周辺ゾーン

ヒグマが出てくることがある場所。
畑や果樹園などもある。
街にヒグマが出てくるのをとめる
ために重要なゾーン。

人とヒグマの
住む場所を分けるには
どうしたらいいかな？



まち こ 街まで来ないようにするには？

ひととは会いたくないヒグマが、人の住む街に来るのには理由があります。その理由に合わせて、どうしたらヒグマが街まで来ないようになるかを考えてみましょう。

しん りん ● 森林ゾーン

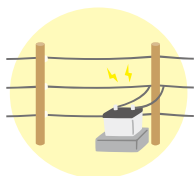
森林ゾーンは、もともとヒグマの住みかなので、ヒグマがいて当たり前な場所です。山の中に入って行く場合は、ラジオを鳴らしたりクマ鈴をつけたりして人がいることを知らせたり、ひとりで行かずに何人かで行ったりしましょう。また、食べ残しなどを山に捨てないことはとても大切なことです。人の捨てたごみを食べるなど、森林ゾーンでの出来事が、ヒグマが街に出てくるきっかけになります。



し がい ち しゅう へん ● 市街地周辺ゾーン

市街地周辺ゾーンは、畑や家庭菜園、果樹園などがあり、自然を身近に感じられる一方で、ヒグマの食べ物になるものがたくさんあるので、農家や地域のみなさんもヒグマの被害にあわないようにいろいろ工夫しています。

でん きさく でん き なが
電気柵（電気が流れる柵）などでヒグマを畑に近づけないようにしています。



ヒグマは草むらなど陰に隠れて移動します。いらない草やぶや木を切ってヒグマの通り道を作らない工夫をしています。



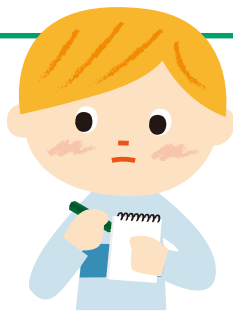
市街地周辺ゾーンでも、ごみの片付けが大切です。また、家庭菜園の作物がヒグマの食べ物にならないように、電気柵で囲ったり早めに収穫しましょう。ヒグマの通り道を作らないよう草刈りをすることも大切な対策です。



●市街地ゾーン

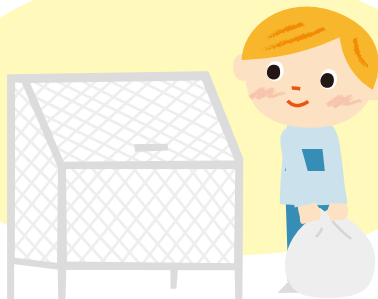
人がたくさん住む市街地ゾーンにヒグマが来るのはとても珍しいことです。もし来てしまった場合、ヒグマにごみを食べ物と思われないように、普段からごみをしっかり管理しましょう。

なるほど…



ごみ出しの ルールを守ろう

特に生ごみの匂いは鼻のいいヒグマにとって食べ物があると
思わせてしまうので、必ず
ごみの日の朝に出しましょう。



ほかにもある。ヒグマが街に来る理由。

札幌には市街地ゾーンと森林ゾーンが直接つながっている地域が多いため、以下のような理由でヒグマが街に出て来ることもあります。

親離れしたばかりの若いヒグマは、人が怖い動物かどうかわからないので、自分の居場所を探して山のあちこちをうろろするうちに、気付かずに街の近くまで出てきてしまうことがあります。

オスのヒグマが、メスのヒグマを追い回す季節があります。メスのヒグマに子どもがいる場合、逃げた親子グマが街の近くに出てしまう場合があります。



わたしたちにできること

ヒグマのことをよく知ること

ヒグマがどういう動物か、どんなものを食べているのかなど、

ヒグマについてよく知ることが大事です。

フンや足跡を覚えておくと、野外で見つけたときに、近くにヒグマがいることがわかります。見つけたらすぐにその場を離れましょう。

ヒグマにあわないように注意すること

山や森に入る時は、必ず何人かが入り、話し声、ラジオ、笛、クマ鈴などの音で、人がいることをヒグマに知らせてあげましょう。

ヒグマが街に近づかないようにすること

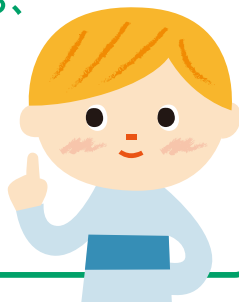
山や森ではごみを捨てずに、必ず持ち帰りましょう。

街の中でもごみステーションのごみ出しルールを守り、ごみをヒグマの食べ物にしないように気をつけましょう。

ヒグマのことをもっとよく知りたくなったら、
札幌市のホームページを見てみよう！

札幌市 ヒグマ対策 

[http://www.city.sapporo.jp/kurashi/
animal/choju/kuma/index.html](http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/index.html)



わたしたちの行動^{こう どう}だけで、
ヒグマが人^{ひと}にとって怖い動物^{こわ どう ぶつ}、悪い動物^{わる どう ぶつ}に
なってしまいます。

わたしたちも、ヒグマたちも
安心して暮^{あん しん く}らせるようになるといいですね。



お父さん・お母さんへ

ヒグマを目撃したり、フン、足跡などの
痕跡を発見された場合は、最寄りの警察まで
ご連絡願います。または下記連絡先へ。

札幌市環境局環境都市推進部

環境共生担当課 ☎011-211-2879

中央区役所 ☎011-231-2400

豊平区役所 ☎011-822-2400

清田区役所 ☎011-889-2400

南区役所 ☎011-582-2400

西区役所 ☎011-641-2400

手稲区役所 ☎011-681-2400

■札幌市のヒグマ出没情報のページ

[http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/
choju/kuma/syutsubotsu/index.html](http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/syutsubotsu/index.html)

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



〈発行・お問い合わせ先〉

札幌市ヒグマ対策委員会事務局

(札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課 内)

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL.011-211-2879 FAX.011-218-5108



さっぽろ市
01-J02-18-2417
30-1-180